

A New Way

Cisco Systems K.K. Company Profile 2006





A New Way...

人と人とのつながりが、交流の仕方が、対話のありかたが、そして社会の成り立ちが、いま大きく変わろうとしています。その変化を可能にし、推進し、実現したのはネットワークです。そう、一人ひとりのイマジネーションのパワーが、ネットワーク上でひとつになることで、新たな流れを生み出しているのです。このネットワークのパワーを、シスコシステムズは様々な方法で強化し、拡大し続けてきました。そしてシスコシステムズによってパワーアップされたネットワークこそが、そのような変化を支えています。仕事、生活、遊び、そして学びに至るまで、あなたが目にする全てのものが、ネットワークのパワーによって、新たなスタイルを獲得しつつあるのです。

最新技術を日本で磨き、世界市場で競争する。 お客様の声に耳を傾け、 そして新たな価値を提供していきます。

ネットワーク環境はこの数年の間に、大きな変貌を遂げました。かつて夢のように思われていたファイバ・トゥ・ザ・ホームはすでに普及期を迎えており、企業はもちろんのこと一般家庭でも、100Mbpsの高速アクセス回線が当たり前のものになっています。またその上で提供されるサービスも急速な勢いで多様化しており、いまやネットワークなしにビジネスや生活を語ることはできない状況です。

このような環境を作り上げる上で、シスコシステムズは大きな貢献を果たしてきました。私どもはネットワークの高速化と高機能化を実現するための様々なテクノロジーを開発すると共に、これらのテクノロジーの標準化を積極的に推進してきました。また安心してネットワークを活用いただくためのセキュリティ技術や、ネットワークのパワーを新たな形で引き出すIPコミュニケーションのようなソリューションも提供しています。さらにワイヤレスネットワークやホームネットワーキングの拡充にも取り組んできました。シスコシステムズは、リーディングカンパニーとして、ネットワークに関わる広範な領域をカバーし、そしてもはやライフラインのひとつともなったインターネットを支えています。

日本は、ネットワーク環境の進歩が特に著しいエリアだといえます。スピードの速さやコストの安さ、その上で提供されるサービスの多様性など、あらゆる面で日本は世界をリードする存在だといえるでしょう。シスコシステムズは、このような日本市場を非常に重視しており、日本のお客様のニーズに対応するための努力を続けています。

最新技術を日本市場で磨くことで、世界市場での競争力を高めていく。シスコシステムズはこの基本戦略に基づき、新たな技術や製品の開発に取り組み、インテリジェントなネットワークアーキテクチャーの実現に向けて活動しています。これからも日本のお客様やパートナー様と緊密な関係を保ちながら、ネットワークに新たな価値を提供し続けたいと考えております。

シスコシステムズ株式会社
代表取締役社長 最高経営責任者

黒澤 保樹



シスコシステムズのネットワークが
いまあらゆる場所に変革をもたらしています。

everywhere.
poweredbycisco.



たとえば教育現場では～innovation.poweredbycisco

教室に隣接したコンピュータールームから、バーチャルに行われる化学実験を見つめる児童。電子ホワイトボードを使って、離れた場所にある学校の同僚と授業プランを検討する教師。子供達が教科書を朗読する様子を自宅からモニターしたり、学習進度のレポートを自宅で受け取る父兄。そして図書室に置かれた無線LAN対応のラップトップPCで、グランドキャニオンやピラミッドへと旅する幼稚園児。シスコのネットワークは教育のあり方を変え、学ぶことの喜びや興奮を高めています。



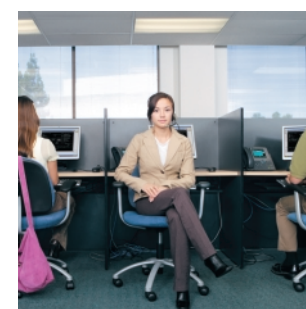
たとえば医療現場では～collaboration.poweredbycisco

患者のベッドサイドで無線携帯端末を使用し、投薬指示内容をチェックする看護師。手術室でCTスキャンの情報を高速ストレージから取り出す脳外科医。雪に閉ざされた村で、遠隔医療の専用ブロードバンドネットワークを介して、500km離れた場所にいる専門家による肺疾患の検診を受ける女性。そして自宅に居ながらにして、外科医による血液科学検査を受ける患者。シスコのネットワークは、あらゆる場所でより良い医療を受けられる環境を支えています。



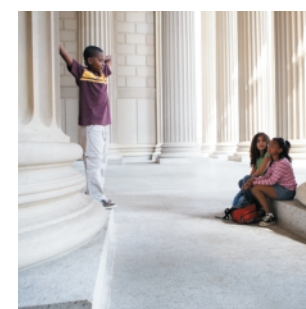
たとえば警察署では～productivity.poweredbycisco

街全体をカバーするシスコのワイヤレスネットワークを介して、指紋ファイルや容疑者の顔写真、ボイスメールを受け取る警察官。同じネットワークを活用して、警察署に戻ることなく現場からの報告書をファイリングする幹部職員。そして彼らが事件現場に到着する前に、現場の様子を伝えるブロードバンドビデオ。シスコのネットワークは業務の生産性を高め、警察官が地域社会の人々との交流に、より多くの時間を費やせるようにしています。



たとえばコンタクトセンターでは～ customer satisfaction.poweredbycisco

顧客からコールを受けた瞬間、コールエージェントのディスプレイには、その顧客のアカウント情報が自動的に表示されます。顧客との対話を、「顧客番号は?」と尋ねるのではなく、「ご希望に適した提案があるのですが」から始められます。そうして顧客は、自宅やオフィスに居ながらにして、店頭でなじみの担当者と話をするのと同じサービスを受けられるのです。シスコのコンタクトセンター用ソリューションにより、サービスの利便性を向上し、個々の顧客に応じた個別の対応による生き生きとした対話を育むことで、顧客との関係が一層親密で長続きするものとなります。



たとえば政府機関では～security.poweredbycisco

運転免許の更新や各種申請のために、行列を作る代わりにオンラインアクセスする市民。シスコの自己防御型ネットワークは、政府・公官庁のWebサイトを常にオープンな環境に保ちながら、プライベートな情報はきちんと保護できるようにしています。また緊急事態が発生した場合にも、強靱なネットワークテクノロジーは、コミュニケーションの流れを維持し続けます。高いレベルのセキュリティを実現したネットワークは、政府機関と市民との交流をスピードアップすると共に、人間味があり信頼できるサービスを実現するのです。

Advanced Technologies & Products

安全で快適なネットワーキングのために
シスコは多岐にわたるテクノロジーと
ソリューションを提供しています。

セキュリティ

ネットワークは、いまや私たちのビジネスや社会生活に、欠くことのできない「ライフライン」になっています。しかしその一方で、ウィルスやワーム、不正アクセス、情報漏えいなど、ネットワークは常に様々な脅威にさらされています。いかんにしてセキュリティを確保するかは、ネットワークを利用するすべての人々にとって、避けて通れない課題なのです。シスコではこの課題に対応するため「自己防衛型ネットワーク」を提唱。その実現のために次のようなセキュリティソリューションを提供しています。

統合化セキュリティ

従来のセキュリティ製品は、それぞれの製品が個別に機能するという形態が一般的でした。シスコはこの状況から脱却し、ネットワークを構成するルータやスイッチをはじめ、ワイヤレスLANやIPコミュニケーションにもセキュリティ機能を搭載し、統合的なセキュリティによってネットワークを保護します。

コラボレーションセキュリティ

ネットワークに接続される端末のセキュリティレベルを、既存のネットワーク機器で確保するという、シスコとパートナーの協業によって実現されたソリューションです。OSレベルやパッチ状況、アンチウィルスソフトの状況など、多岐にわたる情報を監視・精査し、ポリシーに準拠していない端末の隔離や免疫作業を実行します。これによってネットワークの端末の隅々に至るまで、ポリシー準拠を徹底することができるようになります。

適応型防御セキュリティ

アプリケーションレベルでのアクセス制御や、Webアプリケーション管理などを行う「アプリケーションセキュリティ」、様々な脅威からネットワークを保護する「Anti-X防御」、そしてネットワークのインテリジェンスと仮想化されたセキュリティ技術とを統合して効率的な運用管理を実現する「ネットワークでの制御および抑制」から構成される、ダイナミックな防御ソリューションです。これによってネットワーク全体をカバーする、より厳密な精査と管理が可能になり、ネットワークやアプリケーションに対するセキュリティリスクを最小化できます。

シスコではこれらのソリューションを、ルータ製品やスイッチ製品、ワイヤレス製品に搭載したり対応させたりする一方、DDoS防御システムである「Cisco Guard XT」や、適応型防御システムセキュリティと多彩なセキュリティサービスを搭載した「Cisco ASA 5500シリーズ」、セキュリティ監視・分析・対応システム「Cisco Secure MARSシリーズ」など、新たなセキュリティ製品の開発も積極的に進めています。



Cisco ASA 5500シリーズ適応型セキュリティアプライアンス



Cisco Guard XT 5650

ネットワークインフラ

ネットワークが「ライフライン」になることで、サービスプロバイダーに対する顧客の目は、かつてなかったほどに厳しくなっています。より高速なアクセスが求められるのはもちろんのこと、安全性や信頼性の向上や、多様なニーズに応えるための付加価値の提供など、実に様々な要求が突きつけられているのです。その一方で企業内ネットワークに対するユーザーの要求レベルも、かつてなかったほどに高まっています。これは大企業のみならず、中小・中堅企業でも同様です。

シスコはこのようなニーズに対応するため、テクノロジービジョンであるIntelligent Information Network (IIN)の実現に向け、ネットワークインフラを拡張・強化する製品・ソリューションを提供していきます。

Cisco CRS-1 Carrier Routing System

システムの常時稼働に加え、これまでにはないサービスの柔軟性と長期的なシステム利用を実現した、業界初のキャリアルータです。独自の自己回復機能と自己防衛機能を備えたオペレーティングシステム「Cisco IOS XR」を搭載し、稼働状態のままシステム容量を最大92Tbpsまで拡張できます。また業界初のプログラム可能な40Gbps ASICであるCisco Silicon Packet Processorに、Cisco Service Separation Architectureを組み合わせた画期的なシステムアーキテクチャによって、これまでにないサービスの柔軟性と高速性を実現しています。

Cisco XR12000シリーズルータ

革新的なIOS XRと実績の高いCisco 12000シリーズの優れたアーキテクチャを組み合わせた、次世代ルーティングプラットフォームです。コンパクトな4スロットモデルからフルラックサイズモデルまでを用意し、サービスプロバイダーの選択肢を拡大。スロットあたり2.5Gbps～n×10Gbpsまで対応でき、最大1.28Tbpsのスイッチング容量を実現します。またロジカルルータ機能によるセキュアなシステム仮想化や、自己回復、自己防衛、ISSU等の機能もサポート。IP-NGNへの移行を加速させます。

Cisco 7600シリーズルータ

サービスプロバイダーのエッジ部分で威力を発揮する、ハイパフォーマンスエッジルーティングプラットフォームです。スロットあたり40Gbps、シャーシ全体では720Gbpsの容量を実現。VPNやVPLS、マネージドセキュリティなど、多様なサービスを統合できます。これによって、サービスプロバイダーは、オペティカル速度でのサービスに対応するネットワークを構築し、独自のサービスを提供することにより、競合他社との差別化を実現できるようになります。

Cisco SCE 1010/2020シリーズ

ステートフルなトラフィック分析・制御を、サブスクリバードレベルで実現するサービスコントロールソリューションです。ディープパケットインスペクションや、シグネチャによるパターンマッチングなど、アプリケーションベースやセッションベースでの分析・制御が可能です。またRISC/パラレル処理によって処理を高速化しており、大容量キャリアにも対応できるスケーラビリティを備えています。さらにプログラマブルであるため、アプリケーションの進化にも迅速に対応可能。現時点ですでに600種以上のプロトコルとアプリケーションに対応しています。

Cisco ISRシリーズルータ

データと音声、ビデオの統合サービスを、安全かつ高速にサポートする、業界初のサービス統合型ルータです。複数のサービスを1台のシステムで提供することで、導入・設定の迅速化や運用コストの削減が可能になります。

Cisco Catalyst 6500シリーズ

大規模～中規模の企業ネットワークや、キャリアネットワーク向けに設計された、シスコ製スイッチのフラッグシップ製品です。業界最高レベルの可用性と統合セキュリティ機能を備え、高い運用性とスケーラビリティも実現。統合アプリケーションも強力にサポートし、多岐にわたるオプションによって柔軟な構成が可能です。

Cisco Catalyst Express 500シリーズ

従業員数250名以下の企業に最適なイーサネットスイッチ製品です。シスコの優れたテクノロジーによって、ワイヤスビードのノンブロッキングスイッチング処理を実現。高度なセキュリティ機能も内蔵しており、安全で高速なネットワーク基盤を手軽に構築できます。



Cisco CRS-1 Carrier Routing System



Cisco XR12000シリーズルータ



Cisco SCE 1010/2020シリーズ



Cisco ISRシリーズルータ



Cisco Catalyst 6500シリーズ



Cisco Catalyst Express 500シリーズ

IPコミュニケーション

シスコIPコミュニケーションは、電話通話をはじめとするあらゆる通信手段にインターネットの標準プロトコルであるインターネットプロトコルを用いることで、音声通話に加えて、ビデオやWeb会議、各種音声アプリケーションをIPネットワーク上に統合するソリューションです。データ・音声・ビデオをひとつのネットワーク上に統合することで、生産性の向上や運用コストの削減、ワークスタイルの変革、市場の変化への柔軟な対応ができるようになります。また、既存の電話システムとの共存も容易なため、これまでの投資を活かしながら、段階的にIPコミュニケーションへと移行することもできます。

先進的な企業では、すでに、従来のPBXベースの電話システムからシスコIPコミュニケーションへと移行することで、ワークスタイルの変革や組織変更の柔軟性の向上、コストの大幅な削減といったメリットを享受しています。シスコは、IPコミュニケーション推進のために次のソリューションをご用意しています。

IP Phones

シスコのIP Phoneシリーズには、エントリーモデルから、カラータッチパネルにギガビットスイッチを内蔵したハイエンドモデルまで、各種の固定電話や無線IP電話がラインアップされています。最新モデルのCisco IP Phone 7985Gにより、ビデオフォンもラインアップに加わりました。

呼制御サーバー

接続制御を担当するコンポーネントで、IPコミュニケーションの中核となるシステムです。IPネットワーク上で、あらゆる通話やアプリケーションの配信を行い、ひとつの統合コミュニケーションネットワークを実現します。さらにCisco Mobility Managerを使用すると、IP Phoneと携帯電話間の通話管理や、ユニファイドコミュニケーションとの連携も行えます。

ユニファイドコミュニケーション

通話音声や電子メール、FAXといった多様なコミュニケーション手段を統合するソリューションです。社内の生産性向上はもちろんのこと、顧客満足度の向上にも大きく貢献します。

IPコンタクトセンター

IPコミュニケーションをベースにした、コンタクトセンターソリューションです。IPの特徴を最大限に活かし、複数拠点に分散したコンタクトセンターを仮想的にひとつに統合して運用することや、電話に加えてWebやEmailなどのITソリューションとの連携を図ることが容易に行えます。

リッチメディアコミュニケーション

リッチメディア会議ソリューション「Cisco Meeting Place」では、音声・ビデオ・Webをシームレスに統合した会議システムを提供します。個人型のビデオソリューションとして、Cisco VT AdvantageソフトウェアアプリケーションとUSBカメラのCisco VT Cameraで構成された、ビデオテレフォニーソリューション「Cisco VT Advantage」を提供しています。

シスコシステムズでは、大規模組織におけるIPコミュニケーション導入だけではなく、中堅・中小企業におけるソリューション導入の支援も積極的に展開しています。この中堅・中小企業向けソリューションは「シスコ ビジネス コミュニケーション ソリューション」として体系化されており、IPコミュニケーションに必要なIPインフラストラクチャー製品と、中堅・中小企業向けに最適化されたサービス・サポート、さらにファイナンシャルオプションを含めて統合的に提供しています。



Cisco IP Phone 7970G



Cisco 無線IP電話7920



Cisco IP Phone 7985G



オプティカル

通信キャリアなどの公共ネットワークでは、トラフィックの急増が大きな問題になっています。シスコシステムズでは、この問題に対応するために、ルーターやスイッチといったネットワークインフラ製品の高度化を進めていますが、それと同時に、高い信頼性と可用性、サービス性を備えたオプティカルソリューションの提供にも積極的に取り組んでいます。SONET/SDHやWDM伝送はもちろんのこと、イーサネットやFC(Fibre Channel)等の技術も活用することで、通信キャリアの次世代ネットワーク構築を支援しています。

ストレージネットワーキング

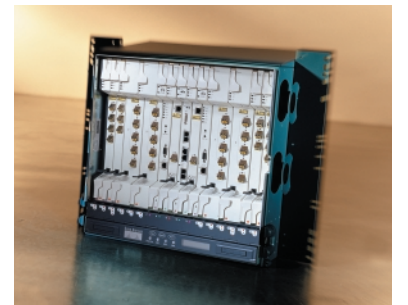
社内システムの膨大なデータを適切に管理することは、重要な経営課題のひとつです。しかしその一方で、ストレージコストを抑制したいというニーズも高まっています。これらの背反する要求に対応できるのが、シスコシステムズのストレージネットワーキングです。ファブリックネットワークによって高速で信頼性の高いストレージ接続を実現し、上位プロトコルとしてIPに対応することで、アクセスの柔軟性向上やストレージの集中管理も可能。データ活用の促進とビジネスの継続性の向上に貢献します。

ワイヤレスLAN

ワイヤレスLANは便利なツールですが、セキュリティ上の不安や運用コスト増大などの問題も抱えています。これらの問題を解決しているのが、シスコシステムズのワイヤレスLANソリューションです。強固なセキュリティ技術を提供すると共に、大規模ネットワークでも簡単に管理できる環境をご用意。ネットワークインフラの健全性を保持するNAC(ネットワークアドミッションコントロール)による「自己防御ネットワーク」と組み合わせれば、安全性はさらに高まります。警察をはじめとする公官庁や大企業への導入実績が数多くあり、その運用性と信頼性はすでに高く評価されています。

ホームネットワーキング

ITは企業だけではなく、一般家庭にも急速な勢いで浸透しています。インターネットを家庭内で利用することはもはや当たり前になっており、家庭内LANを敷設するケースも増えてきました。シスコ・リンクシス株式会社は、ネットワークのメリットを家庭でも存分に享受していただけるよう、ブロードバンドルーターや無線アクセスポイント、エンドユーザアダプタ、無線イーサネットブリッジ等、個人ユーザやSOHOを対象にした製品も幅広くラインアップしています。



Cisco ONS 15454



Cisco MDS 9000 ファミリー



Cisco Aironet アクセスポイント ファミリー



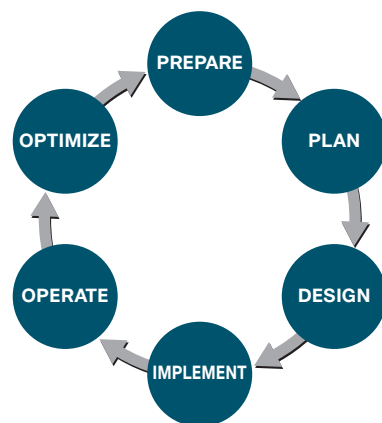
無線LANコンパクトルーター

Services & Support

先進技術の真価を引き出すために
ライフサイクル サービスを提供しています。

シスコのライフサイクル サービス

お客様のネットワークは常に拡張し続けており、ビジネスにとっての利便性や戦略的価値も一段と高まっています。しかし従来通りの短期的なアプローチでネットワーク サポートを続けられ、ネットワークの能力をフルに活用できないばかりか、生産性や競争力の低下を引き起こしかねません。シスコが提案するライフサイクル サービスによるネットワーク サポートは、運用への影響を最小限に抑え、効果的かつ効率的な先進技術の導入を可能にします。今日の複雑なネットワーク環境では、ライフサイクル サービスがビジネスを成功に導く鍵となります。ライフサイクル サポートは、ネットワーク ライフサイクルを創造するための方法論やベストプラクティスを網羅した、総合的なフレームワークです。準備 (Prepare)、計画 (Plan)、設計 (Design)、導入 (Implement)、運用 (Operate)、最適化 (Optimize) の6段階から構成されており、お客様のニーズに最適なサービスを提供できるようにしています。



シスコ アドバンスド サービス

ネットワークの信頼性は、企業の収益性や生産性、ひいては顧客満足度へもダイレクトに影響を与えます。また、新しいテクノロジーの統合を、低リスクかつスムーズに行うことは、厳しいビジネス競争を強いられた今日の企業にとって、克服すべき重要な課題となるでしょう。シスコのアドバンスド サービスでは、専任エンジニアによるクリティカルな障害の早期解決サポートや、インフラストラクチャおよびネットワーク アプリケーションの理想的な設計、展開、最適化を実現するコンサルティングを提供し、ネットワークの可用性とパフォーマンスを最大限に高めます。進化し続けるネットワークのライフサイクルにおいて一貫したサポートを提供するアドバンスド サービスが、お客様をさらなる成功へと導きます。

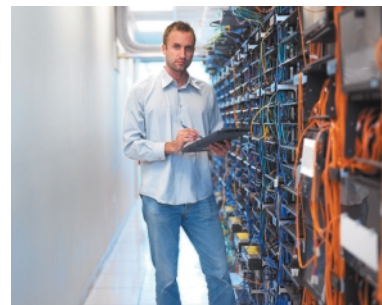


あらゆるサポートニーズが網羅されたサービスプログラム

アドバンスド サービスは、専任技術サポート (FTS)、ネットワーク最適化支援 (NOS)、ASプロフェッショナル のサービスプログラムから構成され、お客様のネットワークのビジネス要件や将来計画に合わせたフレキシブルな選択が可能です。

Technical Assistance Center (TAC)

シスコ製品の導入・運用・メンテナンスに役立つ技術サポート情報を、日本語でご提供しています。日本国内のお客様が、24時間いつでも必要な情報にアクセスし、問題を回避・解決することができるよう、常に質の向上とスピードアップを図っています。



Network Solution Competency Center (NSC2)

シスコの最新機器や最新テクノロジーを導入した高度なネットワーク・システムの事前検証や、デザイン コンフィグレーションのレビュー、ネットワーク評価テスト等を実施するセンターです。これによってネットワークの信頼性やQoSの保証、音声やマルチメディアの統合、セキュリティ、ネットワーク管理などの課題解決を支援します。ネットワーク構築作業の上流から下流まで、シームレスなサービスを提供します。

品質センター

シスコでは、お客様に納入された製品が不都合なく完璧に動作することを保証するため、成田空港至近に品質センターを設け、最終出荷前に厳密な検査を行っています。日本に到着した機器は、お客様にご満足をお届けできるよう、その充実した検査態勢と厳しい品質基準の下で、外観、基本性能、負荷試験などの最終チェックを受けています。また、品質センターでの検査データは、シスコの製品開発・設計・製造拠点到フィードバックされており、ワールドワイドな品質改善のベースにもなっています。

シスコ技術者認定

インターネット技術者に要求される技能を、各レベル毎に認定するプログラムです。常に変化するネットワーク環境を安全に構築・管理できる人材を、世界中の企業が育成・確保できるように支援しています。

Cisco Powered Network

サービスプロバイダ向けのマーケティングプログラムです。シスコのテクノロジーをベースとした通信サービスを「Cisco Powered Network」と認定した上で、サービスプロバイダと共同マーケティング活動を展開します。このプログラムは企業ユーザーが最適な通信サービスを選択するための、重要な指標となっています。

Cisco Channel Partner Program

シスコの製品・サービスを販売する販売店を認定するプログラムです。サポート体制、シスコ技術者認定資格者、テクノロジー分野の専門性、顧客満足度などの観点から、販売店をゴールド・シルバーク・プレミアの3レベルに区分して認定しています。また特定のテクノロジーやソリューションを提供する販売店は「Specialization プログラム」によって認定しています。

機関誌による情報発信

インターネット時代にふさわしいビジネスモデルやリーダーシップ、企業カルチャーなどを紹介する「iQ」と、ネットワーキング技術の最新トレンドやネットワークソリューション、ユーザー事例などを紹介する「PACKET」とを、定期的に発行しています。ビジネスとテクノロジーの両面からの情報発信も、信頼できるパートナーとしての責務と考えています。



Network Solution Competency Center



品質センター



品質センター (製品検査)



Corporate Citizenship & Social Responsibility

社会に信頼される「良き企業市民」となるために
様々な形で社会的責任を果たしています。

高度人材アカデミーの活動を支援

高度人材アカデミー(AIP)は、福岡県が推進する「福岡IT戦略」の中核事業として、これからの日本にあって「最高位のIT人材を戦略的に育成し、その人材や知の集約をもとに、IT活用的高度化と地域の活性化を促進する」ことを使命として、2003年1月に設立されました。「最高位のIT人材の育成」とは、単に技術知識のある人材を育成することを指すのではなく、ITを用いてビジネスプロセスを改善し、企業・自治体や団体・組織などの価値を高めてゆくことができるスキルを、実践的・経験的に身に付けた人材を輩出することを意味します。最高位のIT人材を育成することにより、企業や自治体におけるITライフサイクルの全体を貫く、高い視点からのITガバナンスが推進されます。AIPの趣旨に賛同したシスコシステムズは、テクノロジーとノウハウの両面から積極的なサポートを行っています。

全日本小学校ホームページ大賞 J-KIDSへの協賛

J-KIDS大賞とは、日本全国の小学校(特殊教育諸学校、在外日本人学校を含む)が運営するホームページを対象とした、日本最大の小学校ホームページコンテストです。このコンテストは、「未来を担う小学生が、学校でも家庭でも、インターネットを主体的・積極的に活用する環境を醸成し、情報教育の推進ならびにインターネットの普及に貢献する」ことを理念として、2003年から開催されています。シスコシステムズは、未来を担う小学生のインターネット活用の拡大のために、全日本小学校ホームページ大賞に協賛しています。

シスコ ネットワーキングアカデミー

シスコ ネットワーキングアカデミー プログラム(NetAcad)は、世界各地の教育機関で学ぶ学生たちに、グローバルな経済活動に不可欠なインターネットテクノロジーに関する技能教育を提供する、総合的eラーニング・プログラムです。Web ベースの技能教育プログラムコンテンツ、受講生用オンラインテストと評価、実習マニュアルとともに、教員養成トレーニングやサポート、認定資格取得のための模擬試験などが提供されます。1997年10月、米国内の7州・64教育機関で開始されたNetAcadは、現在では160ヶ国以上に拡大。1万ヶ所以上のアカデミー校で、これまでに160万を超す学生が学習しました。日本でも1998年から展開されており、シスコシステムズは、大学・高等学校・高等専門学校・専門学校におけるインターネット技術者養成を強力に支援しています。

ノーベル プログラム

1世紀以上にわたり、人類に利益をもたらす最高のイノベーションに対して贈られてきたノーベル賞。その活動を永続させ、インターネットを使ってノーベル賞受賞者の功績を広く世界に知らせるため、ノーベル財団は、シスコシステムズとパートナーシップを組みました。そして、これに関連するショーケースとして、ノーベル財団におけるテクノロジー活用事例の紹介や、ノーベル賞受賞者のドキュメンタリー番組の放送、ノーベル平和コンサートなどのプログラムが実施されています。

インパクト フィランソロピー

シスコシステムズのインパクト フィランソロピーとは、個人が有意義な人生を生き、学ぶチャンスを得られ、他の人を助ける機会があるような理想的社会を作ることです。私たちはそのために、目覚ましい仕事をしている非営利活動団体・組織を見つけ出し、彼らの運営戦略の革新的テクノロジーによる具体化・統合化を促すことによって、その潜在能力を長期的に拡大する手助けをします。



環境経営

環境の世紀となった21世紀では、企業経営にも環境問題対策の視点が不可欠です。シスコシステムズは、省資源、省エネルギー、EUのRoHS(有害物質の使用規制)への対応、ISO14001認証取得など、ワールドワイドレベルでの環境経営に取り組んでいます。

多様性確保への取り組み

シスコシステムズは、社員の多様性と一体化がビジネスに必須であると考え、ダイバーシティを積極的に推進しています。またパートナー・サプライヤー・お客様・従業員・コミュニティの相互連携が、私たちの成功のために極めて重要だと考えています。世界各国・各地の異なる文化環境に属している社員は、それぞれに多様な観点や対話のスタイルを持っていますので、そのユニークなバックグラウンド・経験・価値観などをうまく引き出して組み合わせることで、多岐多様にわたるお客様のニーズを理解するのに役立たせることができます。

高品質経営

シスコシステムズは、お客様の成功を第一に考えることをモットーにしています。私たちは、お客様に最大限の価値を提供するために、お客様のニーズを学び、それに応える手法をビジネスプラクティスとしてまとめ、さらにそれを品質改善ツールや品質改善プロセスにも組み入れています。

BS7799/ISMS認証の取得

2005年4月19日、シスコシステムズ株式会社は、情報セキュリティマネジメントシステムの国際規格「BS7799-2:2002」および国内の標準規格である「ISMS適正評価制度(Ver.2.0)」の認証を取得し、高品質経営への取り組みにさらなる弾みがつきました。

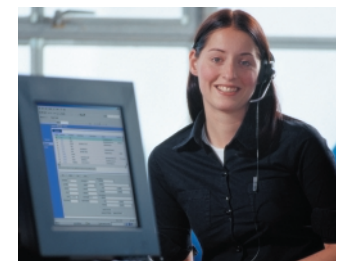
BS7799とは、情報セキュリティにおけるベストプラクティス(最適慣行)をまとめ、基本的な管理項目を規定するために英国規格協会(BSI)によって作成された管理基準です。審査は、英国貿易産業省によって権威付けされたUKAS(英国認定機関)の下、BS7799審査機関と認定された各国の企業・団体により実施されます。ISMS適合性評価制度(Ver.2.0)は、財団法人日本情報処理開発協会(JIPDEC)が2002年4月から本格運用を開始した情報セキュリティマネジメントシステムに関する適合性評価制度であり、国際標準である「ISO/IEC17799:2000」をベースとした適合性評価を行うものです。2003年4月21日にBS7799-2:2002の内容を反映したver.2.0が策定されています。

ISO9001:2000認証の取得

シスコシステムズ株式会社は、シスコがワールドワイドに展開する拠点のひとつとして、営業・サービス・サポートの各部門において、品質マネジメントシステムの国際規格である「ISO9001(2000年版)」を、2003年11月に取得しています。

お客様からのフィードバックへの取り組み

お客様の期待と実際の製品やサービスとの間にあるギャップを正しく認識するため、オンラインによる継続的な顧客満足度調査や、テクニカル・アドバイザリー委員会(TAB)、カスタマ・アドボカシー・アドバイザリー委員会(AES)、アベイラビリティ・プログラム、エグゼクティブ・ブリーフィング等の活動を通じ、お客様からのフィードバックを集めています。これらのフィードバックは、製品やサービスの改善はもちろんのこと、お客様が望む分野への投資のシフトや企業経営の高品質化にも役立てられています。また複数の品質検証・改善プロセスや方法論、ツールを組み合わせた「品質マネジメントシステム」を構築しており、これによって最高品質の製品をお客様に届けるためのクローズドループプロセスを支えています。



Company Profile

シスコシステムズ株式会社 会社概要

(2006年10月31日現在)

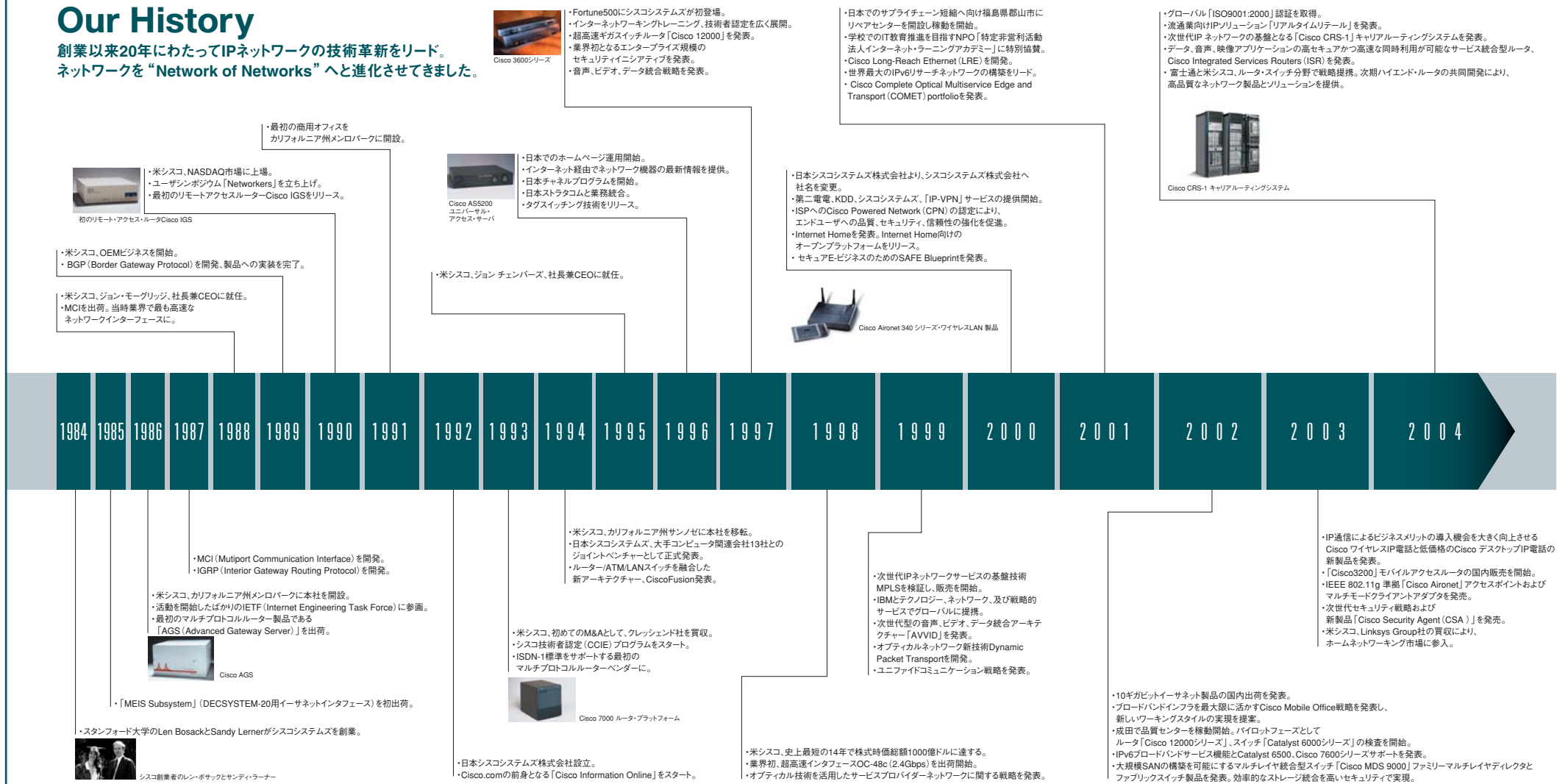
社 名	シスコシステムズ株式会社（英文表記 Cisco Systems K.K.）
設 立	平成4年（1992年）5月22日
資 本 金	4億5,000万円

所在地

東京本社	〒107-0052 東京都港区赤坂2-14-27 国際新赤坂ビル東館
新宿オフィス	〒163-0409 東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル 私書箱303号
札幌オフィス	〒060-0001 北海道札幌市中央区北一条西4-1-2 大和リソナビル5F
仙台オフィス	〒980-6126 宮城県仙台市青葉区中央1-3-1 AER(アエル)26F
大宮オフィス	〒330-0845 埼玉県さいたま市大宮区仲町2-75 大宮フコク生命ビル2F
金沢オフィス	〒920-0031 石川県金沢市広岡3-1-1 金沢パークビル3F
名古屋オフィス	〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦2-4-3 錦パークビル
大阪オフィス	〒532-0002 大阪府大阪市淀川区宮園3-5-36 新大阪MTビル2号館
広島オフィス	〒730-0013 広島県広島市中区八丁堀14-4 広島八丁堀第一生命ビルディング5F
福岡オフィス	〒812-0039 福岡県福岡市博多区冷泉町5-35 福岡福岡第一生命ビル12F
沖縄オフィス	〒900-0033 沖縄県那覇市久米2-4-16 三井生命那覇ビル7階

Our History

創業以来20年にわたってIPネットワークの技術革新をリード。
ネットワークを“Network of Networks”へと進化させてきました。



役員

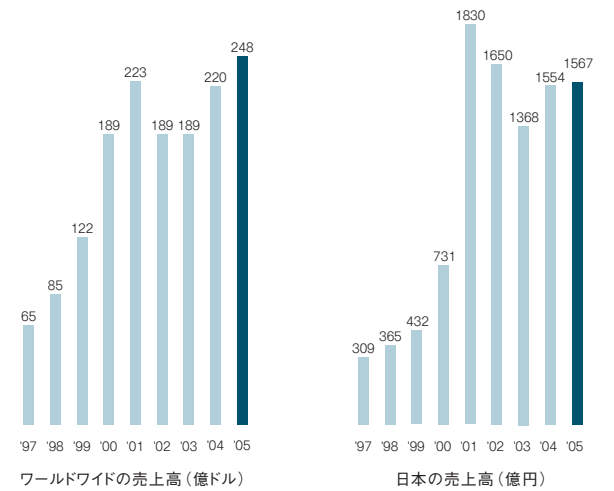
代表取締役社長 最高経営責任者	黒澤 保樹
取締役 常務執行役員	青葉 雅和
取締役 常務執行役員	堤 浩幸
取締役 常務執行役員	吉野 孝行
取締役(非常勤)	リチャード・ジャスティス
取締役(非常勤)	フランク・カルデロニ
取締役(非常勤)	エバン・スロプス
監査役	渡辺 隆司

副社長執行役員	ロン・セズィンスキー
常務執行役員	アレックス・サーバー
執行役員	川口 貴久
執行役員	木下 剛
執行役員	篠浦 文彦
執行役員	富田 泰正
執行役員	ムーン・ジェイ・リー
執行役員 チーフテクノロジーオフィサー	大和 敏彦

株主

米国シスコシステムズインク(100%)

売上高の推移



ワールドワイドの売上高は、米国連結決算に基づいており、日本の会計期間をもとにした売上高とは異なります。また、日本の売上高は、日本の商法に基づいており、百万ドル以下の端数は切り捨てとなっています。

2005 Topics

- ・米シスコ、Airespace社を買収。
- ・「Cisco ネットワーク アドミッション コントロール パートナープログラム」を日本でも本格始動。
- ・日本の研究開発センター（JDC）開所を発表。
- ・自己防御型ネットワーク構想を強化。
- ・移動体向け「無線装置内蔵モバイルルータ」を開発。
- ・顧客の課題解決・提案活動を支援する新たな施設「カスタマー・ブリーフィング・センター」を開設。
- ・米シスコ、Topspin Communications社を買収。
- ・米シスコ、Sipura Technology社を買収。
- ・BS7799-2:2002 及び ISMS 適合性評価制度の認証取得。
- ・富士通と米シスコ、戦略提携に基づき、次世代ハイエンドルータ「Fujitsu and Cisco CRS-1」を提供開始。
- ・米シスコ、Vihana社を買収。
- ・米シスコ、FineGround社を買収。
- ・優れたコストパフォーマンスと高機能セキュリティ、ワイヤレスサービスを提供するVPNブロードバンドルータを発表。
- ・新世代ネットワークを保護する適応型セキュリティ アプライアンスCisco ASA 5500シリーズ発売開始。
- ・「Interop Tokyo 2005」の“Best of Show Award”（プロダクトアワード部門）3部門で受賞。
- ・米シスコ、M.I.Secure社の買収が完了。
- ・米シスコ、NetSift社を買収。
- ・日本IBMとシスコ、サーバーとネットワークが連携するIT基盤の統合化ソリューションを提供。
- ・米シスコ、KiSS Technology社を買収。
- ・米シスコ、Sheer Networks社を買収。
- ・子供たちの社会観を育む、新たな機会を提供する「Cisco Take Our Kids To Work @ Tokyo」デーを開催。
- ・中堅・中小企業向けに高性能でシンプルかつ安全性の高い「シスコ ビジネス コミュニケーション ソリューション」を提供。
- ・米シスコ、Nemo Systems社を買収。
- ・ITセキュリティのコンプライアンスを強化するため、NACフレームワークを拡張。
- ・米シスコ、Scientific-Atlanta社の買収契約を発表。
- ・ネットワークの脅威を防ぐ、大規模感染防止ソリューションを提供。



シスコシステムズ株式会社

URL:<http://www.cisco.com/jp/> 問合せURL:<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter>
〒107-0052 東京都港区赤坂2-14-27 国際新赤坂ビル東館 TEL.03-5549-6500(代)

0191-0512-05A-T